FALL/WINTER 2025

-2025 TEAM SLOGAN-

PRIDE

KEIO VOLLEYBALL TEAM 2025

HP：keiovb.com　Instagram：@keio_official_volleyball　X：@keiovb

Table of Contents

選手・スタッフ紹介 **P1〜P3**

新入生紹介 **P4・P5**

4年生企画 **P6〜P9**

塾高対談 …… 6

SFC高対談 …… 7

上京組対談 …… 8

4年生総選挙 …… 9

早慶戦特集 **P10・P11**

ビーチバレー特集 **P12**

慶関戦特集＆全早慶明 **P13**

ROSTER

PLAYERS

主将
4年 L
1 山元 康生
Kosei Yamamoto

出身校	慶應義塾	身長	172cm
学部	法学部法律学科	最高到達点	319cm

2年 OH
2 清水 悠斗
Yuto Shimizu

出身校	習志野	身長	185cm
学部	総合政策学部	最高到達点	337cm

2年 L
3 緒方 哲平
Teppei Ogata

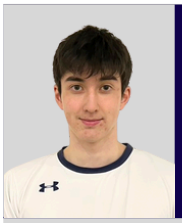
出身校	日向学院	身長	174cm
学部	環境情報学部	最高到達点	315cm

2年 L
4 今田 匠海
Takumi Imada

出身校	慶應義塾	身長	170cm
学部	法学部政治学科	最高到達点	315cm

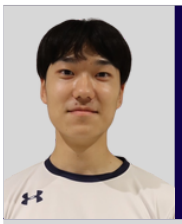
3年 OH
6 山口 快人
Kaito Yamaguchi

出身校	慶應義塾	身長	185cm
学部	経済学部	最高到達点	341cm



1年 MB
7 中村 玲央
Leo Nakamura

出身校	福大大濠	身長	195cm
学部	総合政策学部	最高到達点	335cm



1年 MB
8 中島 昊
Ko Naka

出身校	慶應義塾	身長	183cm
学部	経済学部	最高到達点	329cm

3年 MB
9 松山 鼓太郎
Kotaro Matsuyama

出身校	慶應義塾	身長	188cm
学部	商学部	最高到達点	332cm

3年 OH
10 野口 真幸
Masaki Noguchi

出身校	慶應義塾	身長	178cm
学部	商学部	最高到達点	331cm

副将
4年 L
11 入来 晃徳
Akinori Iriki

出身校	佐世保南	身長	187cm
学部	環境情報学部	最高到達点	348cm

1年 L
12 重枝 良政
Yoshimasa Shigeeda

出身校	慶應SFC	身長	172cm
学部	経済学部	最高到達点	320cm

1年 S
13 松田 悠冬
Yuto Matsuda

出身校	慶應義塾	身長	192cm
学部	商学部	最高到達点	332cm

1年 OH
14 猿渡 健
Ken Saruwatari

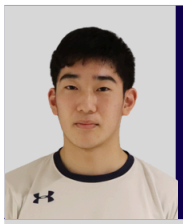
出身校	国立	身長	184cm
学部	経済学部	最高到達点	323cm

4年 S
15 久保田 健介
Kensuke Kubota

出身校	慶應SFC	身長	168cm
学部	商学部	最高到達点	310cm

4年 L
17 平山 一之心
Kazunoshin Hirayama

出身校	甲南	身長	173cm
学部	商学部	最高到達点	324cm



1年 L
21 井上 航
Wataru Inoue

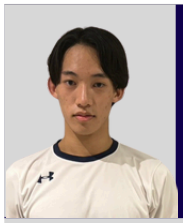
出身校 慶應義塾　身長 173cm
学部 経済学部　最高到達点 300cm

2年MB
22 稲井 正太郎
Shotaro Inai

出身校 慶應義塾　身長 186cm
学部 法学部法律学科　最高到達点 335cm

2年 OH
24 玉島 弘之
Hiroyuki Tamashima

出身校 春日部　身長 180cm
学部 文学部　最高到達点 326cm



2年 MB
25 石田 玲之
Akiyuki Ishida

出身校 芝　身長 193cm
学部 経済学部　最高到達点 346cm

2年 S
26 岩間 祥成
Shosei Iwama

出身校 成城　身長 173cm
学部 環境情報学部　最高到達点 326cm

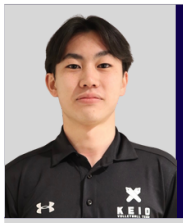
2年 OH
29 林 賢治
Kenji Hayashi

出身校 慶應NY　身長 179cm
学部 経済学部　最高到達点 314cm

2年 MB
30 小山 啓太
Keita Koyama

出身校 慶應義塾　身長 180cm
学部 商学部　最高到達点 325cm

STUDENT STAFF



4年 アナリスト
一木 脩平
Shuhei Ichiki

出身校 慶應義塾　身長 170cm
学部 法学部法律学科

4年 渉外主務
河村 歩奈
Ayuna Kawamura

出身校 慶應SFC　身長 158cm
学部 経済学部

4年 主務
山木 柊
Shu Yamaki

出身校 慶應SFC　身長 174cm
学部 文学部

3年 アナリスト
鍬塚 凛
Rin Kuwatsuka

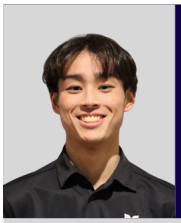
出身校 刈谷　身長 168cm
学部 商学部

3年 中等部コーチ
熊谷 健太
Kenta Kumagai

出身校 慶應義塾　身長 180cm
学部 商学部

3年 学連委員
佐藤 かれん
Karen Sato

出身校 長野　身長 169cm
学部 商学部



3年 副務
林 航大
Kodai Hayashi

出身校 慶應義塾　身長 182cm
学部 商学部

2年 アナリスト
石原 猛
Takeru Ishihara

出身校 慶應SFC　身長 172cm
学部 法学部政治学科

2年 アナリスト
長坂 遥大
Haruto Nagasaka

出身校 慶應義塾　身長 185cm
学部 商学部

2年 アナリスト
三浦 安慈
Anji Miura

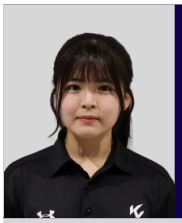
出身校 慶應義塾　身長 169cm
学部 経済学部

2年 学連委員
田渕 美里
Misato Tabuchi

出身校 国府台女子学院　身長 156cm
学部 法学部政治学科

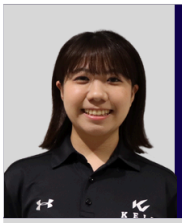
2年 渉外副務
渡邉 莉子
Riko Watanabe

出身校 大宮開成　身長 160cm
学部 文学部



1年 マネージャー
眞田 莉奈
Rina Sanada

出身校 慶應SFC　身長 152cm
学部 理工学部



1年 マネージャー
山田 香凛
Karin Yamada

出身校 慶應女子　身長 153cm
学部 法学部法律学科

COACHING STAFF

部長
和田 龍磨
Tatsuma Wada

総監督
藤澤 昌彦
Masahiko Fujisawa

監督
星谷 健太朗
Kentaro Hoshiya

マネージャーアドバイザー
岡本 諒大
Ryota Okamoto

チームドクター
鈴木 陽太
Yota Suzuki

メンタルトレーナー
辻 秀一
Shuichi Tsuji

FOR MORE INFO...

Email：keiovb@hotmail.com
HP：keiovb.com
X(旧Twitter)：@keiovb
Instagram：@keio_official_volleyball

HPや各種SNSはこちらから→

今後の活躍にご期待ください！
バレー部新入生インタビュー Q&A

4月以降に入部した新入部員6名にインタビューしました！皆個性的で、話してみるとそれぞれに面白い一面があり、すでにチームに欠かせない存在です。そんな新メンバーの基本情報や入部のきっかけ、これからの意気込みを聞いてみました♪

井上航(経1・L)　慶應義塾高校出身

Q1　入部した理由は？　バレーボールが好きだから

Q2　4年間の目標は？　楽しむ

Q3　憧れの先輩は？　康生さん(山元・L)

Q4　チームで活かしたい自分の武器は？　レシーブ

Q5　義塾バレー部の魅力を一言で！　仲が良い

眞田莉奈(理1・MG)　慶應SFC高校出身

Q1　入部した理由は？　元々バレーをしていて、大学でも携わりたいと思ったため

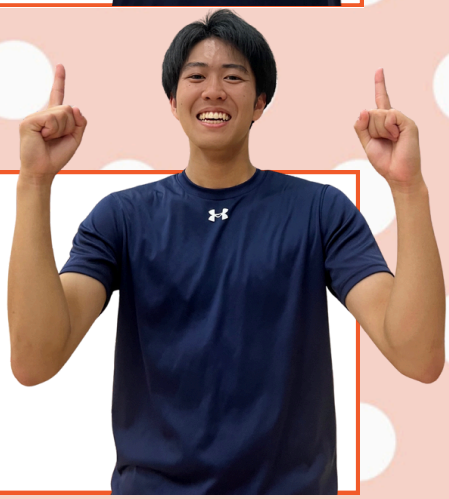
Q2　4年間の目標は？　チームに貢献できるように、自分自身も成長する！

Q3　憧れの先輩は？　河村歩奈さん(経4・渉外主務)・山木柊さん(文4・主務)

Q4　チームで活かしたい自分の武器は？　高校の部活で培った根気強さと広い視野

Q5　義塾バレー部の魅力を一言で！　個性豊かで楽しいチーム

猿渡健(経1・OH)　都立国立高校出身



Q1　入部した理由は？　バレーが好きだから

Q2　4年間の目標は？　オールラウンダーになる

Q3　憧れの先輩は？　野口真幸先輩(商3・OH)

Q4　チームで活かしたい自分の武器は？　笑顔

Q5　義塾バレー部の魅力を一言で！　みんな優しい

中島昊(経1・MB)　慶應義塾高校出身

Q1　入部した理由は？　バレーボールを続けたかったから

Q2　4年間の目標は？　試合に出る

Q3　憧れの先輩は？　緒方哲平さん(環2・L)

Q4　チームで活かしたい自分の武器は？　明るさ

Q5　義塾バレー部の魅力を一言で！　練習熱心

山田香凜(法1・MG)　慶應義塾女子高校出身

Q1　入部した理由は？　バレーボール観戦が好きで、大学で関わりたいと思ったから

Q2　4年間の目標は？　信頼される存在になる

Q3　憧れの先輩は？　歩奈さん(河村・渉外主務)

Q4　チームで活かしたい自分の武器は？　どんな時も平常心でいれるところ

Q5　義塾バレー部の魅力を一言で！　それぞれが考えて行動しているところ

石田玲之(経2・MB)　芝高校出身

Q1　入部した理由は？　バレーをもっとうまくなりたい

Q2　4年間の目標は？　早慶戦出場

Q3　憧れの先輩は？　平山一之心さん(商4・L)

Q4　チームで活かしたい自分の武器は？　圧倒的な高さ

Q5　義塾バレー部の魅力を一言で！　途中入部の自分を受け入れてくれる温かさ

公式インスタグラム(@keio_official_volleyball)にて、
より詳しい新入部員情報を掲載しております！
あわせてそちらもぜひご覧ください♪

こちらは義塾バレー部公式インスタグラムです！

⚠偽アカウントにご注意ください⚠

4年生シャッフル対談企画①
協力：慶應スポーツ新聞会

塾高出身対談

山元康生 × 一木脩平

――他己紹介をお願いします

山元：一木脩平くん、法学部法律学科の4年生で、大学ではアナリストを務めています。僕は高校1年生の時から一緒にバレーをやっていて、中学時代は横浜、何なら日本ナンバーワンくらいの秀才で。「頭脳と言えば一木」みたいに名を轟かせていました。今でも頭のキレだったり回転の速さだったりはやっぱり体育会イチで、それに加えて発信力とか、そういうところでも、アナリストとしても高まってきているなと感じて、とても頼もしい同期です。

一木：山元康生くんです。法学部法律学科4年生ということで、ぼくと同じ学部でして。僕が知っているのは塾高からなのですが、彼は中学時代からバレーボールを始めて、中学ではキャプテン、高校も実質キャプテンのような立ち回りをしていました。高校2年生くらいのときは一プレイヤーという印象だったのですが、高校3年生くらいからぐっと実力が伸びて、大学に入ってもずっとリベロっていう守備専門のポジションでスタメンとして活躍していました。今は大学でキャプテンを務めていて、プレイヤーとしてだけではなく、組織全体を見る力、統率力も高校時代よりもさらに磨きがかかっていて、一体育会生としてすごく頼もしいなという印象を持っています。

――一番印象に残っている思い出はありますか

山元：いくらでも出せるけど、僕的には高2の冬くらいに僕が初めて試合に出るってなって、結構自分を追い込んでしまうタイプだったので、上手くいかないことに限界を迎えてしまって、練習投げ出して体育館の地下にある階段で泣いてた時があったんです。そういう時に一番初めに来てくれて、力強い言葉をかけてくれて救ってくれたなっていうのが自分の中では受けたものとして大きい、印象に残っている話かなって思いますね。

一木：高校時代はそれだね。よく彼は地下にこもっていたので。

山元：よくではない（笑）。

一木：康生がいない！地下だ！一木行ってこいみたいな。最初に僕が行っちゃったせいで担当になって。

山元：2、3回ね（笑）。

一木：大学で出すとするなら、大学2年の記念館でやった日大戦かな。

山元：俺も、言おうとした今。

一木：それがすごく印象に残っていますね。試合にずっとスタメンで出ていたんですけど、怪我も多くて試合に勝てない期間が続いていて。いよいよ負けたらやばいぞって中で、1週間近く康生につきっきりでアナリストとしてアドバイスをして、相手はこういう特徴があるからこういうところを対策していこうみたいな話をしていた結果、見違えるほど相手のスパイクを上げてくれて、フルセットで勝った試合でした。当時のエースと3人で撮った写真がまだ残ってるんですけど、アナリストとしても一番やりがいを感じた瞬間でもあるし、康生とも思い出深いエピソードの一つかなと思います。

――春リーグを振り返って、いかがでしたか

山元：良かったこととしては、怪我人なく最後まで戦いきれたというところと、新しいセッターが入ってきて、どんなチームになるのかがはっきり見えていない中で試合を通してこのチームの形が見えてきたところです。ただやっぱり、他大学と比べるとまだ地力の差が大きい、アタックも守備もまだまだ相手の方が勝っていて、だから6位という結果に終わってしまったと思っています。まず、ベースとなるスキルの部分からしっかり磨いて、もう一回戦いに挑んでいこうという方針で今やっています。

一木：去年のスタメンが少なくて、今年から本当に新チームとしてフレッシュな顔ぶれのなかで、怪我無くみんなが伸び伸びとプレーできたのは良かったと思っています。二部6位という順位自体は目標に達することはできなかったけど、去年の秋リーグの実力とのギャップとはまた訳が違うというか、自分たちの現在地なんじゃないかと思っています。だから今は二部に慣れることなく、でも、もっとできるのにというよりは、自分たちの現在地が分かったからここからどう伸ばしていくかという考え方ができているかなと思います。

――この期間、意識的に取り組んでいることは何ですか

山元：ブロック、ハイセット、繋ぎという3つに関してはこの夏、なるべく時間を割いて強化していることですね。

――7年間一緒に戦ってきたと思いますが、残すところも少なくなってきました。これからどう取り組んでいきたいですか

山元：何かを特別変えるとかは正直ないと思ってて、良くも悪くも今まで積み上げてきたものがこういう形になっているので、今一緒にできているのも幸せなことだけど、あと何カ月しかないからこうしていこうというよりかは、このままお互いより良いチームにしていくために努力を重ねていきたいです。そして疲れたときは遊びに行ったり談笑したりして、そのまま継続して高みを目指していこうと思います。

一木：4年ですし、あともう4カ月なので、ここからどちらかが大きく道をそれてしまうとかはないはずなので、康生が言った通り、2人ともチームの目標を達成するためにこのまま動いていきたいです。あとは後悔だけ残らないように、気遣うような間柄でもないですし、言いたいことは言い合って少しでも強くなれるように頑張っていくしかないかなと思っています。

――最後の秋リーグ戦に向けて意気込みをお願いします

山元：もう今年1年間関東一部復帰を目標に掲げて来て、ラストチャンスですし、来年の3年生の代が一部で戦えるように、先に残すという意味でも最後に自分たちが出来るのはそこだけだと思うので、全てを尽くしていく限りです。

一木：このチームは下級生主体でやっていて、やっぱりみんなが楽しんでバレーしている瞬間に一番結果がついてくるので、後輩たちがのびのびプレーできるように、4年生は日頃の練習含めた基盤を整えて、プレッシャーや責任は全部背負って、後輩たちは秋リーグを楽しんでほしいですし、優勝したいなって思っています。

――ありがとうございました！

（取材：村田理咲）

4年生シャッフル対談企画②
協力：慶應スポーツ新聞会

SFC高出身対談

山木柊 × 久保田健介 × 河村歩奈

――他己紹介からお願いします！

久保田→河村：関係から言うと、河村歩奈は高校2年生の時に同じクラスで出席番号も隣で、席も前後だったので、俺が筆箱を持って行かなかった時によくペンを借りていたなという印象だったんですけど…大学に入ってまさか同じ部活に入るとは思っていなかったですね。やっぱり去年くらいから女性スタッフの一番上のポジションになりましたし、しっかりしてるのかなと思っています。しっかりキャラですね。

河村→山木：山木柊はSFC時代の関わりで言うと、3年間1回も喋ったことがなくて。でも共通の友達がいたので「面白い人なんだろうな」くらいの印象はあって、あとは人当たりの良さそうな人だなと思っていました。大学で部活に入ろうかなと思っていた時にも、入学式の時に「バレー部に興味あるんでしょ？」って声をかけてくれたりしたので、安心できたなと思います。今は主務と渉外主務で一緒に仕事をやることが多くて、かなり頼りきりでいつもお世話になってます。

山木→久保田：久保田健介は商学部の4年生で今セッターをやっていて、学校としては中等部、SFC、大学で10年間一緒なんですけど、まともに話すようになったのは大学に入ってからで、高校で同じ部活になってようやく関わりができました。高校の時の印象は、すごくセンスのある選手だなと思っていました。彼は当時初心者だったんですけれど、初めて上げたトスがちゃんとトスになるっていう人を初めて見たので…

河村：嬉しそう（笑）。

山木：だからこの人は絶対セッターだなというふうに思ったのを覚えています。大学に入ってからは、すごく愛されキャラだから1年生の頃からすごく伸び伸びとバレーボールをしているなという印象があります。

――出身校によってやはり雰囲気は違いますか？

山木：部の雰囲気がやっぱり塾高なので、その中で出身校が違うだけでちょっと雰囲気が違うなというのはありますね。

久保田：1年生の時はちょっと難しいよな。塾高生がまず割合として多いからね。

山木：でも塾高生とは違うけれど、それぞれみんなキャラが立っているので塾高以外のメンツも一括りにはできないかなと思います。

――改めて4年生はどんな学年ですか

山木：他の代が同期の中でどういう感じか分からないですけれど、同期の中でMTGとかをした時に芯を食ったことを言い合えるというか、話し合う時にためらいがない代だなと思います。だからこそ、4年生として何かを決めなければいけない時にはやりやすいというか、はっきりと言ってくれるから決めやすいなとは感じていました。

河村：柊が言っていたMTGに関して言うならば、言語化が上手いなと思います。私はもともと言葉を選んだりということが得意ではないので、みんなの言葉から語彙をピックアップして成長できたかなとは思います。

久保田：責任感の強い人が多いなと思いますね。平山（＝平山一之心／商4・甲南）とか康生（＝主将・山元康生／法4・慶應）は3年生の中の後半くらいから、俺らが引っ張っていかなきゃってことで、次の代のために下の代と連携を取ったり。そうやって先を見据えて行動できる人が多いかなとは思います。

――1ヶ月ほどで最後の秋リーグですが、どんな想いで練習に励まれていますか

久保田：一部復帰して、後輩を一部の舞台で戦わせてあげたいという想いです。個人としてもバレーをできる最後の半年ですし、授業も少なくなってきてバレーに集中できる半年間なので、後悔しないように一日一日練習したいと思います。

河村：本当に最後のリーグ戦なので、振り返った時に一瞬たりとも悔いのない時間を過ごしていきたいなと思っています。

山木：結局は一部復帰なんですよね。我々が二部から一部復帰を経験した最後の代なので、さっき言った部に残したいものも含め、下から上がっていくという体験を後輩にさせてあげたい。いろんな体験と知識を後輩にあげたいなという思いで、引き継ぎ等含めやっています。

――現在のチーム状況は

山木：8月に色々練習試合が組まれているので、そこでのパフォーマンスを見てというところではありますけれど、練習メニューで基礎的な部分、繋ぎとか、ブロックとハイセットというところを重点的に強化しているところなので、そこが練習試合でどう出るかを見るのが楽しみです。結構メニューを作ってくれている人たちも色々考えてやってくれているところなので、ブロックとハイセットというところは確実に強くなっているかなと思います。

――最後に秋リーグへの意気込みをお願いします！

河村：一部復帰を達成して引退します！

山木：一緒です！（笑）

久保田：爆発力を発揮します！

山木：目標は、航大には僕がいなくなったことを強く感じてほしい。「柊さんいないのやばい」って思ってほしい。でも、全体としては何も変化を感じないでほしい。

河村：ずっと「当たり前を支える」ということをやってきたので、その努力を選手には見せないんだよね。航大が柊と同じ水準をやるのは大変だけど、でもそれをできるようにしてから引退したいってことだよね。

山木：そういうこと。みんなからしたら「スッといなくなったな」と思ってほしい。航大からしたら大変だなと思われながら引退したいです。

――素敵なお話をありがとうございました！

（取材：長掛真依、根本佳奈）

4年生シャッフル対談企画③
協力：慶應スポーツ新聞会

上京組対談

入来晃徳 × 平山一之心

――他己紹介をお願いします

平山→入来：環境情報学部4年生の入来晃徳です。出身が長崎県の佐世保市で、高校も長崎県の強豪校。バレーのキャリアがすごくて、中学生の頃に日本代表に選ばれたくらいの逸材です。鳴り物入りで入って、今現在も活躍中、という感じです。趣味は音楽制作です。

入来：今はやってない。

平山：あ、やってないの？

――音楽制作というのは、0から自分で？

入来：全部0から。2年生のときからやっています。

平山：あとは、俺も思うし他の人からも聞くけど、まじで優しい。下に兄弟が二人いるから、お兄ちゃん気質で心優しいなという感じです。

入来→平山：平山一之心くんは商学部商学科で、僕の同期です。甲南高校出身で、そこでエースとしてブイブイ言わせていました。大学でも、性格が明るいから、いろんな人を巻き込んでしょっちゅう遊びに行っているし、一番部員と近い距離で話せるのは、のしん（＝平山）じゃないかなと思います。勢いがあるタイプだから、好き嫌いはすごく分かれると思うけど、合う人には本当に合うから、同期にいてくれてよかったなと思いますし、こういうムードメーカー的な存在は絶対にチームに必要だから、ありがたいです。1年のときはリベロとして経験不足な部分もあったけど、4年の今はめっちゃ上手くて。

平山：高校時代はスパイカーで、大学からリベロ。

入来：そう。大1から今までずっと成長していて、努力する姿勢がめちゃくちゃすごいと思っています。あとは頭がいいです。

平山：ありがとうございます。

――お二人とも大学から慶應ですが、慶應を選んだきっかけは

入来：佐世保南は進学校だったので、自分としても勉強を手放したくなかったし、スポーツだけをやっている人は当時の俺にはあまりかっこよく見えなくて。いろんな大学からお誘いをもらってきた中で、部活もして勉強もする、という理想像に一番近かった慶應を選びました。あとは、たくさんの監督の方々が長崎までいらしてくれたのですが、星谷さん（＝星谷健太朗監督／平26卒）の言葉が当時の自分に一番響いたし、こういう大人になりたいと感じたので、その直感を大切にしたというのもあります。今振り返ってみても、一番いい選択だったと思います。

入来：あと、早稲田の松井さん（＝松井泰二監督）には「全国に出ていたらお前に声をかけた」と言われました。俺の恩師でもある先生が松井さんとめっちゃ仲が良くて、俺の話をしてくれていたみたいで。「全国に出れば取れたのに」とずっと言ってくれていて、嬉しかったし、ひとつの自慢かなと思います。

平山：早慶戦後の両監督の挨拶でも、毎年入来がピックアップされています。

入来：多分、松井さんは変にチャラチャラしてないのが好きなんじゃない？

平山：なるほどね。でも最高到達点348cmで、プロを入れても高い方だしポテンシャルもあったと思う。僕はもともと慶應に行く気はなくて、附属の甲南大学にそのまま進学する予定だったんですけど、勉強を頑張っていたら先生から「慶應行けるよ」と言われて、なら行くか、と。指定校推薦で他の東京の大学もありましたけど、慶應以外は選択肢になかったです。あとは慶應にいるだけで人脈が広がるし、意識の高い人達と同じ視座を持つことで自分の幅も広がるので、いい選択だったと思います。

――プレーの面で、お互いの尊敬しているところを教えてください

平山：さっきも言ったように僕がもともとスパイカーだったこともあって、強いスパイクに対する憧れがあるので、同期が強いスパイクをやってくれるというのは、自分のことのように捉えられて嬉しいです。もちろん後輩がスパイク決めても「よくやった」とはなるけど、同期が決めるとより嬉しい。特にロングラリーを入来が仕留めるときは気持ちいいですね。かっこいい。

入来：のしんは、大学2年のときのインカレ、愛学（＝愛知学院大学）戦。
（※第76回全日本インカレ1回戦。フルセットの末、勝利した）

平山：あれね。

入来：めっちゃ競ってた中のしんがリベロで入って、2連続とかでいい球を上げて、それが得点に繋がって。のしんがいなかったら負けてたかもしれないから・・・

平山：あれはまじで俺の全盛期。

入来：あのときののしんは本当にかっこよかったし、すごいときはめっちゃレシーブ上がる。多分俺と一緒なんだけど調子の波があって、いいときは本当に全部球上げるから。それは練習で見ていてもすごいなと思います。

――次の秋季リーグ戦が大学最後のリーグ戦になりますが、4年生としての意気込みをお願いします

平山：4年生としては、結果重視ではないですけど、後輩に何かひとつ残せたらいいなと。多分来年もこういう苦しい状況が続くと思うんですけど、その中でモチベーションを保って試合で結果を出すためのプロセス、その正解というか、俺らの代の答えというのを後輩に示せたらいいなと思います。チームとしては、一部復帰が望ましい。個人としては試合に出場することが目標です。

入来：自分は価値を証明したいというのが大きくあって、それが結果として出るものなのか、過程として出るものなのかはどちらでもいいんですけど、とにかく自分たちがやってきたことを形にしたいという思いがあります。大きな目標としては一部復帰があるのですが、全カレで勝つことでもいいし、なにか「俺たちの代はすごいんだぞ」というか、努力してきた証を残せたらいいなと思います。そのために普段から、4年生として自分のプレーのほかに、後輩に対する振る舞いとかを考え続けること、考えない日をなくすことを意識して、一日一日を大切に過ごせていけたらいいなと思います。

他にも．．．

・互いの第一印象
・チームの強み
・今年の春リーグについて
・オフシーズンに取り組んだこと
・注目選手

などについて語っています!!

全対談本文はこちらのQRコードから→

\1・2・3年生に聞いた！/

4年生総選挙

後輩からの、普段の4年生の印象を探るべく、
1・2・3年生に対しての聞き取り調査を行いました！
各ランキングにどんな4年生が入っているか
是非チェックしてみてください♪

可愛らしい性格をしているのは？

1位 河村歩奈

なんかもう真面目すぎて全部かわいい(稲井)ビジュ強い(松山)かわいい(清水)かわいい(賢治)

たくさんご飯に連れて行ってくれたのは？

1位 一木脩平

一番一緒にいるから(熊谷)一時期週8で会ってる期間がありました(野口)家族班長！だいすきです！(今田)

ギャップがあるのは？

1位 入来晃徳

一見コワモテ、中身は愛嬌たっぷり。(玉島)バレー以外で話すとフランクに接してくれる(松田)

2人きりで出かけるなら？

1位 久保田健介

趣味とか好きなものが似てる気がします。俺だけ？(玉島)素をだせる。聞き上手。(松山)

10年後の姿が楽しみなのは？

1位 山木柊

海外に行って、よりかっこよくなってそう(山田)ビッグになってる(石原)大物社長になってる(稲井)

練習中にいちばん声が出ているのは？

1位 山元康生

主将が1番声出てる(山口)常に声が響き渡っている。(井上)最近はGOODだよ！って仰っているイメージ(山田)

私生活が充実していそうなのは？

1位 平山一之心

SNSも聞く話も楽しそうだから！(田渕)よくストーリーでキメ顔のピン写が載ってることが多いから(野口)

\4年生に聞いた！/

プライベートで会う同期ランキング

Extra Edition

1位：山木柊(文4・主務)

・誕生日、サシで飯に行った(入来→山木)
・去年の主務の別荘に一緒に行かせてもらった(河村→山木)

筋トレ頑張っている人は？

1位 平山一之心

最もトレーナーらしい身体してる(山口)のしんさんよりでかい背中を見たことがない。(今田)ムキムキ(中村)

Beach VOLLEYBALL

７月１２日(土)より２日間にわたって行われた、第３２回関東大学ビーチバレーボール選手権大会に、本塾から野口(商３)・岩間(環２)ペア、今田(政２)・稲井(法２)ペア、玉島(文２)・清水(総２)ペアが出場いたしました。そこで各ペアにお気に入りのプレー写真を選んでもらい、その写真についても説明してもらいました。ぜひご覧ください！

大会出場で得た経験をインドアにも活かし、今後の練習に励んでまいります。引き続き6名の選手へのご声援のほどよろしくお願いいたします♪

野口・岩間ペア's favorite photos

1 野口真幸

乱れたボールを拾えたシーン。イナバウアーに見えます。

2 野口(左)・岩間(右)

二人で高いボールを取りに行こうとした写真が、パン食い競争みたいだったので。

3 岩間祥成

日本代表のブロックの壁は高かったです。

4 岩間(左)・野口(右)

楽しく、真剣にバレーボールをしている姿だと感じました。親に感謝です。

稲井・今田ペア's favorite photos

1 今田(左)・稲井(右)

敗戦後のすがすがしい笑顔！

2 稲井正太郎

ボールを上げたときの写真がフラダンスをしているようだなと思いました。

3 今田匠海

コートチェンジの時。高校時代のライバルと再戦！

4 稲井(左)・今田(右)

玉島・清水ペアの試合を見て、「ナイスゲーム」と伝えているところ。

玉島・清水ペア's favorite photos

1 玉島弘之

サーブレシーブ。

2 玉島(左)・清水(右)

二人のお気に入りの写真です！

3 清水悠斗

アンダーでのトス。

4 清水(左)・玉島(右)

ギリギリでボールを繋いで点をとった後のシーン。

写真提供：PAN.Yinghao さん

第89回
早慶バレーボール定期戦

89th waseda-keio annual volleyball match

過去最多3,325人の観客動員を達成！

去る６月８日(日)、慶應義塾大学日吉記念館にて第８９回早慶バレーボール定期戦が開催されました。大歓声で揺れる日吉記念館の中で試合を開催できたこと、部員一同心より御礼申し上げます。フロアの３７０席は完売、ギャラリー席も立ち見者が出るほどの大盛況！今年度より新設したエンドコート１列目確約席は数分で完売するなど大好評をいただきました！バレー早慶戦を盛り上げていただいた皆様、ありがとうございました！

華々しい選手入場演出

本年度の早慶戦演出の目玉はなんといっても選手入場。選手はエスコートキッズとともにチアの作る花道から、そしてスタメン選手はスモークやライトアップで彩られた舞台から登場しました！選手がこだわって選び抜いた楽曲とともに、それぞれのパフォーマンスで入場するその様子はSVリーグさながらのクオリティ！観客のどよめきを感じられました。

この入場演出を指揮したのは副務の林航大(商３)。日吉記念館史上初の照明・スモーク演出を実現させました。林はこの早慶戦について、「山木さん(文４)、河村さん(経４)など先輩方のおかげで実現できました(>▽<)」と語っています。

写真集

早慶戦戦評は慶應スポーツ新聞会
ホームページにてご覧いただけます。
下記QRコードからぜひご覧ください！
↓

第79回 IN KWANSEI GAKUIN UNIV. 慶関戦

8月17日、関西学院大学上ヶ原総合体育館にて、第74回慶関バレーボール定期戦が開催されました。(男子戦:25-18,25-21,25-17 セットカウント3-0で本塾の勝利)

現地まで応援に駆けつけてくださった方々、配信を通じて応援してくださった方々、部員一同心より感謝しております。

昨年に続き、今年も男女同時開催が実現し、両校の誇る伝統とプライドをかけた白熱の試合が繰り広げられました。

選手たちは互いの健闘を讃え合い、応援席からは温かい拍手が送られるなど、両校の絆を感じる一日となりました。

本大会は毎年主催校を交代しながら開催されており、次回は慶應義塾大学側での開催を予定しています。

少しでも興味を見ってくださった方は、ぜひ会場にてご観戦ください！

次回の定期戦は…

「第76回全早慶明バレーボール定期戦」!!

慶関戦の次に開催される定期戦として、「第76回全早慶明バレーボール定期戦」が予定されています。

今年度は、慶應義塾大学日吉記念館を会場に開催される予定です。迫力ある名門校同士の戦いを、ぜひ会場でご観戦ください！

大会の詳細につきましては、義塾バレー部公式ホームページやSNSにて随時発信予定です。 ※日程や会場などは予告なく変更となる場合がございますので、最新情報のご確認をお願いいたします。

【去年の試合結果】※2セットマッチ

vs.全早稲田大学	vs.全明治大学
第1セット 22-25 第2セット 20-25 **0-2**	第1セット 25-21 第2セット 25-20 **2-0**

全早慶明とは…??

全早慶明バレーボール定期戦は、早稲田大学・慶應義塾大学・明治大学の3校が参加する、長い歴史と伝統を誇る大会です。各大学が誇る現役選手に加え、メンバーとしてその大学のOBが最低1名出場することが大きな特徴で、世代を超えた交流と競技の魅力を一度に味わえる貴重な場となっています。OB選手は,現役時代から培った経験と技術を発揮しながら、若い選手たちを鼓舞し、チーム全体の士気を高めます！

また、大会は毎年、早稲田・慶應・明治の順番で主催校を交代する「1年ごとの当番制」で行われ、単なるスポーツイベントにとどまらず、OBと現役、そして三大学の交流を深める文化的行事としても位置づけられています。会場では白熱した試合はもちろん、選手たちの世代を超えたチームワークや、3校の誇りを背負った真剣勝負の姿を見ることができます！！

2025 Autumn League Men's Div. 2

GAME SCHEDULE

Day 1	9/6 (土)	10:00	VS 亜細亜大学	@立正大学熊谷キャンパス
Day 2	9/7 (日)	14:00	VS 桜美林大学	@立正大学熊谷キャンパス
Day 3	9/13 (土)	14:00	VS 明治学院大学	@亜細亜大学武蔵野キャンパス
Day 4	9/14 (日)	12:00	VS 国際武道大学	@亜細亜大学武蔵野キャンパス
Day 5	10/4 (土)	14:00	VS 立正大学	@大東文化大学東松山キャンパス
Day 6	10/5 (日)	12:00	VS 山梨大学	@大東文化大学東松山キャンパス
Day 7	10/11 (土)	10:00	VS 日本大学	@大東文化大学東松山キャンパス
Day 8	10/12 (日)	12:00	VS 中央学院大学	@大東文化大学東松山キャンパス
Day 9	10/18 (土)	10:00	VS 山梨学院大学	@大東文化大学東松山キャンパス
Day 10	10/19 (日)	10:00	VS 立教大学	@大東文化大学東松山キャンパス
Day 11	10/26 (日)	14:00	VS 大東文化大学	@立教大学新座キャンパス
★1部・2部入替戦★	11/1 (土)	未定		未定